

講演概要

■講演 演（1）

講演タイトル：『学校教育における防災教育「命を守る授業」実施』

講師：①石本 俊亮 氏（九州本部防災委員会・技術士（建設・総監））
講師：②黒光 貴峰 氏（鹿児島大学教育学部准教授・博士（学術））

講演概要

- ・目的：①東日本大震災における「釜石の奇跡」は、日頃の防災教育の重要性を明らかにしたと言われている。九州本部防災委員会では、逃げ遅れによる死者ゼロを目指して、早めの避難を促すための活動を実施することとし、令和3年度より防災授業を実施してきている。
- ②自分たちの住んでいる地域の実態を把握し、災害のリスクを自分自身のこととして意識できるような教材ならびにワークショップの開発を行うことを目的としている。重ねて開発した教材やワークショップを実施し、有効性の検証を行ない、より充実した教材、ワークショップのあり方を検討する。
- ・方針：①本研究は、4年生をスタートとし、5年生、6年生の3ヶ年を通じて、①自然災害の基礎知識獲得、②地域の災害リスクを認識、③自ら考え、行動する力をつけることとし、直方市教育委員会を通じて、防災授業を実践することで、技術士が考える防災教育のツールを開発する事としている。
- ②開発した教材は、主として学校教育で活用できるものである。なるべく教育現場での負担がないよう、学校のカリキュラムに合わせた教材の開発を行なった。開発したワークショップは、達成目標を明確にし、それを実現するための内容と手法の検討を行った。
- ・社会的位置付け：①文部科学省では、東日本大震災を受け平成25年3月に『「生きる力」を育む防災教育の展開』を位置付けている。これより、各学校で防災授業に取り組まれているが、自然災害の専門家ではない教職員が受け持つため、内容が一般的なものとなっている。本研究は、実践的な防災教育を支援する内容と位置付けている。
- ②社会的位置付け：開発した教材ならびにワークショップを通して、防災の基本概念である 自助・共助・公助の力の向上と、地域住民同士や行政と地域住民の連携を図れることを目指した。

■講演 演（2）

講演タイトル：『産業分野の予防と健康寿命』

講師：中井 雄貴 氏（第一工科大学工学部准教授・博士（保健学））

講演概要

現代社会では、健康で安全に働き続けられることが求められています。労働安全衛生法に則り、企業等で働く労働者の労働環境や作業条件、健康状態を把握し、産業医学に基づいて改善する支援を行うことを産業保健といいます。産業保健の対象となる職業病や災害発生、生産性について説明します。また、職場や自身で行う予防活動について紹介します。

次に、健康で日常生活を支障なく送ることのできる期間を指す「健康寿命」について紹介します。健康寿命と生活習慣、運動習慣の重要性について。転倒予防や痛みの予防と健康寿命の関連性について。認知症の症状や予防と健康寿命について。脳卒中と健康寿命について。尿漏れと健康寿命について。むせや誤嚥と健康寿命について。これらの症状や予防方法について自己チェックをしながら説明します。仕事と健康を両立したより良い生活を送るヒントになることを期待します。